

荒工 通信



東京都立荒川工業高等学校 定時制課程

第2号

令和2年12月25日 発行

〒116-0003

東京都荒川区南千住6-4-2-1

TEL: 03-3802-1178

令和2年度第2学期を終えるにあたり

校長の挨拶

コロナの収束が見えないまま、令和2年が終わろうとしています。生徒の皆さんにとっては、手指消毒、検温、ソーシャルディスタンスなど、学校での生活が制限されることで、不便さを感じ人も多くいたのではないのでしょうか。

また、マスク着用も新しい日常として、習慣化されつつありますが、自分の身を守る必需品と分かっているようにも、やはり、しゃべりにくい、肌が荒れる、息苦しいなど、弊害は否定できません。ハアハア言いながら必死に教鞭を執る先生方の御苦労も、校長としてとても辛く感じました。

このような中、世界では、このコロナによって多くの死者が出ています。一方、ワクチン開発は急ピッチで行われており、間もなく日本でも接種できるのではないかとこの情報もあります。

私たちは、見えない恐怖とこれまで経験したことの無い長い期間、闘っております。しかし、「コロナに負けるな！」と本校生徒の皆さんの思いと、その思いに応えようと必死に生徒を支えている本校定時制課程教職員の情熱に、感服しております。11月に実現できた4日間に及ぶ「荒工定オリパラ祭り」は、まさに生徒と教職員の思いが一つになって学校を動かした歴史的行事であると確信しております。ぜひ本校のレガシーとして継承していきましょう。



皆さんにとって、来年こそは、良い年でありますことを祈念しております。良いお年をお迎えください。

セーフティ教室

令和2年12月18日（金）、南千住警察署の職員2名をお招きし、振り込め詐欺防止をテーマとして、セーフティ教室を実施しました。

高校生が、「受け子」の実行犯となった実際の事件を再現した演技を鑑賞して、振り込め詐欺が身近な犯罪である認識を深めました。

後半は、振り込め詐欺等の誘いを断るロールプレイングを実施しました。警察署職員の方が振り込め詐欺指示役を演じ、生徒が実際に「受け子」教唆を体験しました。体験した生徒は、適切に誘いを断りつつも、「逃げる選択が考えられなかった」という感想を話していました。



「自分の身は自分で守る」この力は当然必要ですが、万が一の時は、学校や警察に相談することの大切さをあらためて学びました。

荒工定オリパラ祭り

コロナですべての学校行事が中止になる中、何かできないかと生徒会から発案され、全生徒の力を結束させて行ったイベントです。生徒会、生活指導部で検討した結果、「学校に関わる全ての人を楽しめるお祭り」を目標として準備を進めました。生徒会の掲げた目標により、全てにおいて生徒が主体となり開催に向け努力しました。

しかし当初は、具体的なビジョンが描けず悩んでいました。そこで各生徒会役員が各学年のHRで悩みを打ち明け、全ての生徒からアイデアをつのりました。その結果、バドミントン、ポッチャ、ミニ四駆大会という3種目を一週間で総優勝を決定するという画期的な提案が出ました。運営方法としては、バドミントン、ポッチャを生徒会と体育委員会を中心に、また、ミニ四駆大会については、知識も必要となるため有志をつのり、実行委員会を立ち上げ準備、運営を行うことにしました。当初は、頼りなかった生徒会長を始めとする生徒会各役員でしたが、みんなの協力により心に残るお祭りとすることができました。

オリパラ祭り ポッチャ大会

オリパラ祭り2日目にポッチャ大会が行われました。ポッチャは、パラリンピックの正式種目で、年齢、性別、障害の有無に関係なく、すべての人が楽しめる競技です。

ゲームの進め方は、目標の白いボールに向かって、赤・青6球ずつのボールを投げ、どれだけ近づけられるかを競います。



生徒たちは、短い練習時間の中で投げる感覚をつかみ、大会では、神業ともいえるプレーを連発していました。緊張感のある白熱した試合が続く中、大接戦を制し、優勝したのは4年生チームでした。ポッチャ競技をとおして、楽しみながら、パラリンピックスポーツへの理解を深めることができました。

ミニ四駆大会

ミニ四駆大会では、有志生徒が生徒会役員と共に計画、運営、さらには、コース製作と大きな力を発揮しました。影のリーダーとなって活躍した生徒会Y君、コースのレイアウトは4年生のK・Kコンビ、実況は1年生のG・Sコンビ、コース製作は1年生と3年生を始めとする多くの生徒が力を注いでくれました。校長賞受賞者だけでなく、全ての生徒の協力があり、みんなで作った競技会となりました。



陰の立役者がいます。生徒会長です。コースの製作では、休日に登校し、放課後時間がない中でもすぐに取り掛かれるように準備を行っていました。当日は、コースがスタート時間までに制作できなかったため、急遽パワーポイントでコースの説明スライドを作り、視聴覚室から一人説明し、時間調整を行いました。この様な危機を乗り越えミニ四駆大会は大成功を収めました。

オリパラ祭り バドミントン大会

オリパラ祭り4日目にはバドミントン大会が行われました。学年ごとに教員を含めた6人のチームを2つ組み、予選リーグ、順位決定トーナメントのラウンド方式で優勝を目指しました。

試合は、すべてダブルス戦で行われ、生徒たちは、他学年のチームや教員ペアとの試合を楽しみました。順位決定トーナメントになると、どの試合も激戦になり、見ている生徒から「おお！」という歓声や「ああ。」というため息の音がたくさん聞かれました。結果は、1位、4年生チーム。2位、1年生チームでした。



オリパラ祭りの最終日に相応しい、大変盛り上がった、素晴らしい大会となりました。